

令和3年度山形県子育て支援員研修 研修募集要項

1. 目的

本研修は、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の各事業等に従事することを希望する者に対し、厚生労働省が定める「子育て支援員研修事業実施要綱」に基づき、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識、技能等を修得するための研修を実施し、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とします。

2. 主催

山形県

3. 実施主体

社会福祉法人 山形県社会福祉協議会（山形県より委託）

4. 研修内容

「子育て支援員研修事業の実施について」（第三次改正 子発 0329 第 14 号 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知 平成 31 年 3 月 29 日）に基づき、別紙「令和3年度山形県子育て支援員研修 研修内容」のとおり研修を実施します。

厚生労働省で定めた「基本研修」及び「専門研修」を修了し、「子育て支援員研修修了証書」の交付を受けることで、子育て支援員としての認定を受けることができます。

5. 対象者

- ・ 育児経験や職業経験など多様な経験を有し、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、職務に従事することを希望する者
- ・ 現に子育て支援の仕事に従事している者

6. 研修日程・定員

【基本研修+専門研修[地域保育コース（共通研修・地域型保育事業）】 ※計6日間

	基本研修	共通研修	地域型保育事業	定員
地域保育コース①	7/3（土）	7/10（土）	8/21（土）	60名
	7/4（日）	7/11（日）	8/22（日）	
地域保育コース②	10/16（土）	10/23（土）	11/27（土）	60名
	10/17（日）	10/24（日）	11/28（日）	
地域保育コース③	10/16（土）	11/13（土）	12/4（土）	60名
	10/17（日）	11/14（日）	12/5（日）	

【基本研修+専門研修 [地域保育コース（共通研修・ファミリー・サポート・センター事業）】 ※計5日間

	基本研修	共通研修	ファミリー・サポート・センター事業	定員
地域保育コース④	7/3（土）	7/10（土）	7/30（金）	20名
	7/4（日）	7/11（日）		

【基本研修+専門研修(放課後児童コース)】※計4日間

	基本研修	放課後児童コース	定員
放課後児童コース	7/3(土) 7/4(日)	7/17(土) 7/18(日)	50名

[注意事項]

※地域保育コース①・②・③・④、または放課後児童コースいずれか1つの受講となります。
(同一年度で2つのコースを受講することはできません)。

※研修を修了したと認められた者には、修了証書を交付します。やむを得ない理由により研修科目の一部のみの履修となった場合には、一部科目修了証書を交付します。翌年度以降、未履修科目の受講が可能です。

7. 研修会場

- ・東北文教大学
〒990-2316 山形県山形市片谷地 515
 - ・協同の杜 JA研修所
〒990-2375 山形県山形市東古舘 123 番地
 - ・山形県社会福祉研修センター
〒990-0021 山形県山形市小白川町 2 丁目 3 番 30 号
 - ・山形県総合社会福祉センター
〒990-0021 山形県山形市小白川町 2 丁目 3 番 31 号
- ※研修日によって会場が変更しますので御留意ください。

8. 受講料

無料

9. 申込方法

地域保育コース①・④、放課後児童コースの受講を希望される方は下記の申込WEBサイトより6月10日(木)までにお申込みください。

地域保育コース②・③の受講を希望される方は下記の申込WEBサイトより9月16日(木)までにお申込みください。

《申込WEBサイト》 <http://www.ymgt-shakyo.or.jp/e-kouza/>

研修コース	募集開始日	募集締切日
地域保育コース①・④、放課後児童コース	5月24日(月)	6月10日(木)
地域保育コース②・③	8月16日(月)	9月16日(木)

※申込状況により、募集締切日前でも募集を締め切らせていただくことがあります。その際は本会ホームページでお知らせします。

※WEBサイトからの申込みを原則といたしますが、できない場合は申込書等を郵送いたしますので、問い合わせ先まで御連絡ください。

※申込者が定員を超えた場合は、県と協議の上受講者を選定しますので御了承願います。

・研修申込みにあたり、受講免除を申請される方は下記の手続きを行ってください。

(1) ○資格による基本研修免除

次に掲げる方については基本研修が免除されます。「資格証の写し」と、申込完了後に本会よりメ

ールで送付する「受講申込受付書」を同封し、本会まで郵送してください。

・保育士 ・社会福祉士 ・看護師 ・保健師 ・幼稚園教諭

○一部科目免除

過年度に基本研修及び専門研修の一部科目を修了している方については、受講済みの科目が免除されます。「基本研修修了証書」又は「一部科目修了証書」の写しと、申込完了後に本会よりメールで送付する「受講申込受付書」を同封し、本会まで郵送してください。

- (2) 受講免除を申請される方は、各研修コースにお申込みいただき、質問項目「研修受講免除の希望」、「該当する免除要件」に必ず御回答ください。

10. その他

- (1) 本研修は、あくまでも修了者を「子育て支援員」として認定するものであり、修了後の雇用先を紹介及び保証するものではありません。
- (2) 欠席、遅刻、早退をした場合は、原則修了者として認定できませんので、交通手段など各自責任を持って準備してください。
- (3) 会場の駐車場には限りがありますので御了承ください。
- (4) 研修中は携帯電話の電源を切るかマナーモードにしてください。
- (5) 昼食は各自御持参ください。
- (6) 体調管理には十分注意して研修に臨んでください。
- (7) 個人情報には、本人の同意がない限り第三者には提供いたしません。
- (8) 自然災害や感染症等により、研修が中止・延期となる場合があります。本会ホームページにてお知らせしますので、参加前に必ず御確認ください。

11. 感染症等に関する事項について

(1) 【本会として行う研修時の感染予防対策】

- ① 職員スタッフ等のせっけんによる手洗い、マスク着用等を行います。
- ② 会場入り口には手指消毒用のアルコールを設置します。
- ③ 受講者の座席の間隔は、最低1m空けて配置します。
- ④ 研修会場のこまめな換気を行います。
- ⑤ 講師・受講者に対し、せっけんによる手洗い、マスク着用等のアナウンスをします。

(2) 【受講者へのお願い】

- ① 研修当日、受付で『健康状態申告シート（兼出席確認票）』を提出いただき、検温も実施します。風邪の症状や37.5℃以上の発熱がある方は、受講を御遠慮ください。
(上記シートは、受講決定後に郵送にてお送りします。)
- ② 受講中は、マスクの着用をお願いします。(マスクを御持参ください。)
- ③ 手指の消毒をお願いします。
- ④ 研修会場では外気を取り入れたこまめな換気を行いますので、温度調整等対応できる服装に御協力ください。

【郵送先・問い合わせ先】

社会福祉法人山形県社会福祉協議会 人材研修部 研修係

〒990-0021 山形市小白川町2丁目3-30

TEL : 023-622-2730 / FAX : 023-622-2789

令和3年度山形県子育て支援員研修【基本研修】 研修内容

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 （ 5 科 目 ）	① 7/3（土） ② 10/16（土） 【会場】 ①協同の杜 JA 研修所 講堂 ②東北文教大学 6号館 631教室	8:50～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:10 (60分)	・子ども・子育て家庭の現状 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 2 家庭の意義と多様な子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。 3 子育て家庭への支援について理解する。 4 子どもの貧困や非行などの背景の概要について理解する。
		10:20～11:20 (60分)	・保育の原理 山王堂 恵偉子 氏	1 発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 2 情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。 3 子育て支援事業における安全対策や危機管理の必要性について発達との関連を踏まえて理解する。
		11:30～12:30 (60分)	・子どもの発達 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 准教授	1 子どもの発達を捉える観点について理解する。 2 子どもの発達（「発達・成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」）の概要について理解する。 3 生涯発達の概要について理解する。 4 子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。 5 「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。
		12:30～13:20	昼食休憩	
		13:20～14:20 (60分)	・子ども家庭福祉 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 児童家庭福祉施策・制度の概要（子ども・子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置付け等）について理解する。 2 児童福祉施設等と専門職の役割について理解する。 3 児童家庭福祉に関する地域資源の概要（地域人材の確保を含む）について理解する。
		14:30～15:30 (60分)	・対人援助の価値と倫理 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 対人援助の価値について理解する。 2 子どもの最善の利益について理解する。 3 対人援助の倫理について理解する。 4 保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性について理解する。 5 子育て支援員の役割について理解する。
2 日 目 （ 3 科 目 ）	① 7/4（日） ② 10/17（日） 【会場】 ①協同の杜 JA 研修所 講堂 ②東北文教大学 6号館 631教室	9:00～9:10	受付	
		9:10～10:10 (60分)	・児童虐待と社会的養護 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 児童虐待（家庭における配偶者等からの暴力(DV)を含む）とその影響（虐待を受けた子どもに見られる行動など）について理解する。 2 虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 3 子どもの権利擁護の基本的視点について理解する。 4 社会的養護の意義と現状の概要について理解する。 5 社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する。
		10:20～11:20 (60分)	・子どもの障害 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 障害特性の概要について理解する。 2 障害児支援制度の概要について理解する。 3 障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要について理解する。 4 障害児支援等の現状について理解する。
		11:30～12:30 (60分)	・総合演習 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 履修した内容についての振り返りを図るためのグループ討議 2 子育て支援員に求められる資質についての理解の確認 3 履修した内容の総括と今後の課題認識の確認

令和3年度山形県子育て支援員研修

【専門研修(地域保育コース[共通科目])】研修内容

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (6 科 目)	① 7/10 (土) ② 10/23 (土) ③ 11/13 (土) 【会場】 東北文教大学 6号館 621教室	8:50~9:05 9:05~9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10~10:10 (60分)	・乳幼児の生活と遊び 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 菊地 敬子 特任講師	1 発達・成長過程に応じた子どもの生活への援助方法について理解する。 2 発達にふさわしい子どもの遊びとその環境のあり方について理解する。 3 子ども同士の関わりあいが、発達を促すことについて理解する。 4 子どもの一日の生活の流れの中での保育者の役割について理解する。
		10:20~11:50 (90分)	・乳幼児の発達と心理 山王堂 恵偉子 氏 (7/10) 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 准教授 (10/23・11/13)	1 0歳から3歳くらいまでの乳幼児期の発達のポイントを学び、発達に応じた遊びやその安全性について理解する。 2 子どもの発達を支える保育者の役割について理解する。
		11:50~12:40	昼食休憩	
		12:40~14:10 (90分)	・特別に配慮を要する子どもへの対応(0~2歳児) 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 0~2歳の気になる行動をどのように考え、どう関わっていけばよいかを行動特徴の把握などを通して理解する。 2 特別に配慮を要する子どもへの対応における保育者の役割について理解する。 ※発達の遅れが疑われる場合、保護者の思いを踏まえた上での対応の必要性について理解する。(専門機関との連携を含む。) 3 遊びを通して、子どもの発達を促す方法について理解する。
		14:20~15:20 (60分)	・乳幼児の食事と栄養 荒井 眞智子 氏	1 離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。 2 幼児期の昼食作りに役立つ栄養バランスのポイント、食品衛生の基礎知識について理解する。 3 食物アレルギーについて理解する。 4 保育者がおさえる食育のポイントについて理解する。
		15:30~16:30 (60分)	・小児保健 I 荒井 眞智子 氏	1 保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 2 現場に生かせる、より具体的な対応について理解する。
		16:40~17:40 (60分)	・小児保健 II 荒井 眞智子 氏	1 子どもに多い症状・病気を学び、その対応について理解する。 2 小児に多い事故を学び、その予防と対応について理解する。 3 異物除去法、心肺蘇生法を学び、緊急時の対応について理解する。

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
2 日 目 (5 科 目)	① 7/11 (日) ② 10/24 (日) ③ 11/14 (日) 【会場】 東北文教大学 6号館 621教室 ※心肺蘇生は8号館多目的ホールで行います。	9:00~9:10	受付	
		9:10~11:10 (120分)	・心肺蘇生法 日本赤十字社山形県支部	1 乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身につける。
		11:20~12:20 (60分)	・地域保育の環境整備 荒井 眞智子 氏	1 保育環境の整備に当たり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 2 保育を行うために作られた場所ではないところを保育の場として利用する上での工夫や配慮について理解する。 3 保育に必要な設備・備品とその配置について、具体的事例およびチェックポイントを示し、自己点検を行えるようにする。
		12:20~13:10	昼食休憩	
		13:10~14:10 (60分)	・安全の確保とリスクマネジメント 荒井 眞智子 氏	1 保育環境上起こりうる危険について学び、事故を未然に防ぐための予防策や安全確保の留意点について理解する。 2 万一事故が起こった場合の対応や報告について理解する。
		14:20~15:50 (90分)	・保育者の職業倫理と配慮事項 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 保育者としての職業倫理について理解する。 2 保育者の自己管理について理解する。 3 地域住民との関係づくりについて理解する。(家庭的保育における家庭的保育者の家族との関係にも留意する。) 4 保育所や様々な保育関係者との関係づくり、行政との関係などについて理解する。 5 児童虐待が疑われた場合の保育者としての対応について理解する。
		16:00~17:30 (90分)	・グループ討議 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 研修参加者が討議のテーマにそって話し合うための方法やマナーについて理解する。 2 テーマについて、自分の意見を述べたり、他の参加者の意見を聞く相互作用を通して、考えをまとめ、問題点を整理し、解決方法を検討する。 3 今後学びたい内容あるいは助言者に質問したいことなどを、グループ内で話し合う。 4 研修で学んだこと等についてグループ討議を行い、理解を深める。

令和3年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域保育コース[地域型保育事業])】研修内容

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (4 科 目)	① 8/21 (土) ② 11/27 (土) ③ 12/4 (土) 【会場】 ① 東北文教大学 6号館 621教室 ②③ 協同の杜 JA 研修所 講堂	8:50～9:05	受付	
		9:05～9:10	オリエンテーション	
		9:10～10:10 (60分)	・地域型保育の概要 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 地域型保育の各事業の概要や位置づけについて理解する。 2 地域型保育の特徴を学び、保育所保育との共通点、相違点について理解する。 3 規模の小さい地域型保育の意義及びリスクについて学び、リスクを回避するための課題について理解する。
		10:20～12:20 (120分)	・地域型保育の保育内容 山王堂 恵偉子 氏	1 地域型保育における基本的な1日の流れや保育内容について理解する。 2 少人数の異年齢児を保育する際の方法、工夫、留意事項などについて理解する。 3 新しく子どもを受け入れる際の留意点について理解する。 4 計画や記録の必要性を学び、子どもの育ちの見直しをもって保育することの重要性について理解する。
		12:20～13:10	昼食休憩	
		13:10～14:10 (60分)	・地域型保育の運営 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 設備及び運営の基準の内容について理解する。 2 情報提供の方法、受託前の利用者との面接、記録や報告の管理などについて理解する。
		14:20～15:50 (90分)	・地域型保育における保護者への対応 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 保護者と協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を学び、このために必要な知識と技術について理解する。 2 地域型保育における保護者への対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。
		16:00～16:30	事務連絡	
2 日 目 (4 科 目)	① 8/22 (日) ② 11/28 (日) ③ 12/5 (日) 【会場】 ① 東北文教大学 6号館 621教室 ②③ 協同の杜 JA 研修所 講堂	8:50～9:10	受付	
		9:10～10:40 (90分)	・地域型保育の実際 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 地域型保育の教材 DVD の視聴を通して、保育の1日の流れや、環境の構成、保育者の関わりや留意点、安全への配慮等について学ぶ。 2 地域型保育の課題や今後の展望について理解する。
		10:50～12:20 (90分)	・子どもの生活援助の理論 山王堂 恵偉子 氏	1 子どもの成長・発達を育む園生活のあり方について学ぶ。 2 3歳未満児の日々の生活日課を構成する遊びや睡眠、食事、排せつなど、子どもの生活援助における理論について理解する。
		12:20～13:10	昼食休憩	
		13:10～14:40 (90分)	・子どもの生活援助の実際 山王堂 恵偉子 氏	1 3歳未満児を対象とする乳児保育の理論を踏まえ、遊びや睡眠、食事、排せつなど、子どもの生活援助における実際を、実務経験のある講師より実技指導を含め学ぶ。 2 ミルクやほ乳瓶などの実物を知る。
		14:50～16:20 (90分)	・保育の記録と計画 山王堂 恵偉子 氏	1 子どもの日常を記録し、計画を立てることの意味を理解する。 2 実際の記録の視点について学ぶ。 3 保育の指針や理念、子どもの発達に応じた計画の立案について実例をもとに学ぶ。 4 受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ。

令和3年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域保育コース[ファミリー・サポート・センター事業])】研修内容

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (4 科 目)	7/30 (金) 【会場】 山形県社会福祉 研修センター 4階 第1研修室	8:50～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:10 (60分)	・ファミリー・サポート・センターの概要 特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド	1 地域における相互援助活動としてのファミリー・サポート・センターの活動の内容や意義について理解する。
		10:20～12:20 (120分)	・ファミリー・サポート・センターの援助内容 特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド	1 保育者(提供会員)として子どもや保護者(依頼会員)に対する心構え、配慮しなければならない点について理解する。 2 援助活動の流れについて理解する。 3 年齢や発達に応じた保育内容・生活援助をする際の方法や工夫、留意事項などについて理解する。
		12:20～13:10	昼食休憩	
		13:10～14:40 (90分)	・ファミリー・サポート・センターにおける保護者(依頼会員)への対応 特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド	1 保護者(依頼会員)と保育者(提供会員)が協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者(依頼会員)の子育てを支援する役割の意義について理解する。また、このために必要な知識と技術について理解する。 2 保護者(依頼会員)との対応において、保護者(依頼会員)との信頼関係づくりや保護者(依頼会員)への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。
		14:50～16:50 (120分)	・援助活動の実際 特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド	1 先輩保育者(提供会員)から直接話を聞き、講義で学んだ環境整備、援助内容、安全確保などについて理解する。 2 援助活動に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする。

令和3年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(放課後児童コース)】 研修内容

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (4 科 目)	7/17 (土) 【会場】 山形県総合社会 福祉センター 4階 総合会議室	8:50～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:40 (90分)	・放課後児童健全育成事業 の目的及び制度内容 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) の目的を理解する。 2 放課後児童健全育成事業の一般原則とその役 割を理解する。 3 放課後児童健全育成事業に関する法律、政省 令及び通知等の内容を理解する。
		10:50～12:20 (90分)	・放課後児童クラブにおける 権利擁護とその機能・役割 等 東北文教大学短期大学部 子ども学科 曾根 章友 准教授	1 放課後児童クラブにおける子どもの権利につい ての基礎を理解する。 2 放課後児童クラブにおける社会的責任の基本を 理解する。 3 放課後児童クラブにおける保護者との関わり方 や学校、保育所・幼稚園等及び地域との連携の 必要性を理解する。
		12:20～13:10	昼食休憩	
		13:10～14:40 (90分)	・子どもの発達理解と児童期 (6歳～12歳)の生活と発達 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 准教授	1 子どもの育成支援のために子どもの発達の基礎 を理解する。 2 発達からみた児童期の一般的な特徴を理解す る。 3 児童期の生活と遊びを理解するために必要な 発達の基礎を理解する。
		14:50～16:20 (90分)	・子どもの生活と遊びの理解 と支援 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 准教授	1 放課後児童クラブに通う子どもについて理解す る。 2 子どもの生活における遊びの大切さを理解す る。 3 子どもの自主性、創造性を大切にする遊びへの 関わり方を理解する。
2 日 目 (2 科 目)	7/18 (日) 【会場】 山形県総合社会 福祉センター 4階 総合会議室	9:00～9:10	受付	
		9:10～10:40 (90分)	・子どもの生活面における 対応等 天童地区学童保育協会 岡村 美由紀 氏	1 子どもの健康管理及び情緒の安定を確保するこ との必要性を理解する。 2 子どもの健康維持のための衛生管理について 理解する。 3 食物アレルギー等への対応に関する必要な知 識を理解する。 4 安全対策及び緊急時対応の必要性を理解す る。
		10:50～12:20 (90分)	・放課後児童クラブに従事す る者の仕事内容と職場倫理 天童地区学童保育協会 岡村 美由紀 氏	1 放課後児童クラブの仕事内容を理解する。 2 放課後児童クラブにおける職員集団と職場倫理 を理解する。 3 人権の尊重と法令の遵守の必要性を理解す る。